

日米合同軍事演習反対集会インえびの 報告

7日(土)のえびの集会に参加いただいた皆さん、大変ご苦労様でした。主催者発表で、500人の皆さんに参加いただきました。ありがとうございました。

鹿児島に米軍はいらない県民の会は、14日から始まる日米合同軍事演習を、姶良伊佐ブロックの皆さんの協力を得ながら湧水町を中心に霧島演習場などを監視したいと考えています。えびの市での事前説明会の記事を添付しました。当初の演習参加人数は320人でしたが、説明会では日米あわせて820人になっています。

湧水町とえびの市にまたがる陸上自衛隊霧島演習場などで10月下旬に行うとしていた日米共同訓練「レゾリュート・ドラゴン」について、九州防衛局と陸自西部方面総監部は5日、実働訓練は17～25日の9日間で、米海兵隊と陸自、米空軍機の参加を想定し、オスプレイ8機も

軍の輸送機オスプレイ8機が参加を予定していると明らかにした。参加人員は陸自700人、米軍120人。同演習場での日米共同訓練では最大規模となる。

えびの市役所で開いた周辺5自治会の住民説明会で、準備や撤収も含め地図を用いて日米共同訓練のオスプレイ飛行ルートを説明する陸自関係者

日米訓練最大820人参加

霧島演習場
17～25日

オスプレイ8機も

た訓練期間は10～31日。日米のオスプレイの内訳は米海兵隊4機、陸自、米空軍機が2機ずつで、陸自、米空軍機の参加は初。他国

の離島侵攻を想定し、オスプレイや陸自CH47大型輸送ヘリ3機が輸送した人員・物資を上陸投入する戦闘訓練を実施する。航空部隊は陸自高遊原分屯地（熊本県益城町）を拠点にする。飛行ルートについて、陸自は「人家や畜舎がないよう努める」と説明した。

説明会には住民4人が出席。演習場に最も近いえびの市尾八重野地区の農業男性(71)は「以前の訓練でも上空は飛ばないと言っていたが、守られなかつた。畜産を営む人には騒音は死活問題。とにかく約束を守つてほしい」と話した。

(深野修司)



現地からの報告として、鹿児島からは「鹿屋無人機反対の闘い（眞島幸則さん）」「馬毛島基地建設反対の闘い（大石正博さん）」「奄美基地反対の闘い（城村典文さん）」が行いました。